



CHARTERED SEPT.11.1953

Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO YAMATE

YAMATE YMCA, 2-18-12, NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO TEL. 03-3202-0321 FAX.03-3202-0329
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-18-12 山手YMCA内

2016 - 17 会長主題

招かれた者としてふさわしく

あずさ部長	浅羽俊一郎 (東京山手)	「あずさ部は賜物の宝庫。もっと活かそうぜ！」
東日本区理事	利根川恵子 (川越)	「明日に向かって、今日動こう」
アジア地域会長	Tung Ming Hsiao (台湾)	“ Respect Y's Movement ” 「ワイズ運動を尊重しよう」
国際会長	Joan Wilson (カナダ)	“ Our Future Begins Today. ” 「私たちの未来は、今日より始まる」

会長 金本伸二郎 / 副会長 尾内昌吉 / 書記 増野 肇・飯野毅与志 / 会計 中村孝誠
直前会長 浅羽俊一郎 / ブリテン 功能文夫 / 担当主事 松本竹弘

2016年 7月例会

キックオフ・YMCAサービス・ASF・RBMの月

と き 7月19日(火) 18:30~20:30
 ところ 山手センター101室
 受付 尾内規子さん・飯野毅与志さん
 司会 鈴木田通夫さん
 開会点鐘 会長
 モットー・ワイズソング 一同
 聖句朗読・祈祷 司会者
 あずさ部部长公式訪問 挨拶 浅羽部長
 ゲスト・ビジター紹介 会長
 会食 一同
 ハッピーバースデー
 楽しい歌
 卓話「BFオーストラリアの旅から」
 小山久恵さん(東京サンライズ)
 山手Yの小窓から 担当主事
 ニコニコ 一同
 諸報告 担当主事、会長
 閉会点鐘 会長

当番[第2班] 中村、尾内(規)、鈴木田、飯野

7月 HAPPY BIRTHDAY

飯島愛子さん 20日

会費の納入は、会計(中村君)への納入または
下記銀行口座への振込みをお願いします。
三菱東京UFJ銀行 高田馬場駅前支店
普通 3548431「東京山手ワイズメンズクラブ」

ワイズメンズクラブ モットー

『 強い義務感をもとう
 義務はすべての権利に伴う 』
 “ To acknowledge the duty
 that accompanies every right ”

今月の聖句

求めなさい。そうすれば、与えられる。
 探みなさい。そうすれば、見つかる。
 門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。

マタイによる福音書 7章7節

6月報告

会員在籍数		17名
例会出席者	メン	14名
	メネット	1名
ゲスト・ビジター		1名
会員出席率		82%
ニコニコ	7,845円(累計 97,900円)	

B F 国内切手 1.6kg 外国切手 1kg



6月例会+ヨルダン会 報告

6月21日(火) 18:30~20:30

山手センター 101号室

出席：浅羽、上妻、飯島(愛)、飯野、尾内、
尾内(規)、金本、功能、鈴木田、鈴木田(祐)、
戸坂、中村、増野、松本 14名
メネット：浅羽 恵さん

合計 15名

司会は上妻さん。年度最後の例会はヨルダン会も兼ねての集まりになりました。

Happyバースデーは上妻清子メネットと尾内さん。尾内さんは87歳とは思えない元気で、今年は最後のご奉仕にとあずさ部会計の重責と併せて山手クラブ副会長として金本新会長を補佐する役目を引き受けてくださった。上妻清子さんは長野の東日本区大会に陰で参加、観光を楽しまれたそうです。戸坂さんのピアノでHappyバースデーを歌って祝いました。

続いて楽しい歌は鈴木田さん選曲で「みかんの花咲く丘」(みかんの花が咲いている・・・)を戸坂さんのピアノで歌いました。この歌は戦後翌年1946年にNHKラジオで川田正子が歌って大ヒットした童謡で、伊東のホテル聚楽の庭に歌碑が建っているそうです。

戸坂さんはこの6月で山手クラブを退会されるので、ご挨拶をいただきました。「2012年7月に入会してから4年、人生の大先輩とご一緒させて

いただき、山手クラブの60周年にも参加でき、ありがとうございました。私にとってワイズといえは山手です。これからもお見捨てなくお仲間として時々は会にもださしてください。」

6月で任期満了の浅羽会長は、2年間を振り返って所感を述べました。「増野会長から引き継いで、1年目は山手をどうもっていくかの話し合いを重ね、また山手学舎支援を行った。2年目はガラッと変わり卓話で勝負した。一人ひとりが賜物を持っていて、魅力的なメンバーが一杯いるのに何故ワイズの中でいかされないのか。会員一人ひとりが奉仕する、ワイズのことをちょっとでも考える時間をもつようにしたい。」

金本次期会長が仕事の都合で出席の時間が遅れたため、次期副会長の尾内さんが立ち、「自分が会長の時に金本さんに山手に入会していただいたので、今回は金本会長の補佐を引き受けた」と語り、次期会計の中村さんは「間違いのないようにやることと、クラブの財産を減らさないようにすることに努める」と語り、新年度予算案を説明しました。次期書記の増野さんと副書記の飯野さん、担当主事の松本さん、鈴木田さん、鈴木田裕子さん、飯島愛子さん、尾内規子さん、上妻さん、功能もそれぞれに現在の健康やワイズへの取り組みについて短く話しました。

次に、ヨルダン会の議題に移りました。

- ① 山手クラブの会員は現在、全員が東京 Y の会員になっている。

- ② 10月22日(土)にあずさ部部会を水道橋のYMCAアジア青少年センター(在日韓国YMCA)で開催。出し物は7月例会で決める。
- ③ 7月16日(土)11:00~12:20にあずさ部評議会、13:30~17:30に東京西クラブ創立40周年記念祝会が開催される。会場:中野サンプラザ、参加費:7000円、参加者:上妻、浅羽、飯島、飯島(愛)、尾内、尾内(規)、金本、功能、鈴木田、鈴木田(祐)、増野、松本、12名

- ① YMCA(山手センター)を知り山手センターを支援する。
- ② 地元地域との連携を深める。
- ③ 福島を忘れない。
- ④ あずさ部部会等並びに各クラブ例会等へ参加する。

以上

.....

会長職を終えて

浅羽俊一郎

2年前山手クラブの会長を務めるにあたり、クラブのために自分として何が出来るか考えました。クラブの活性化、面白い卓話、そしてメンバー一人一人の賜物を見つけ出すこと等々。今振り返ってみるとどれも不十分だったこと反省することしきりです。ただ一人一人の賜物を見つけない、活かしたいというテーマは自分への課題設定としては悪くなかったと思います。

現役を離れて、似たような価値観の人達と利害抜きに本音でつきあえる。ワイズダムの魅力です。折角入った世界であれば、この中に様々な賜物を見いだして、自分の宝物に出来ればこれほど豊かな交わりはないでしょう。反対に、ほどほどの付き合いでつながっているだけならば、負担に終わってしまうでしょう。この2年間、山手クラブを超えた交わりを持てたことは得難い経験でした。この経験を今後も活かしていきたいと思います。今までのご辛抱とご協力ありがとうございました。

最後に、会長交代式を鈴木田さんの立ち合いのもとに行い、浅羽会長から金本伸二郎新会長に会長バッジが引き継がれました。そして金本新会長の主題、抱負、方針が発表されました。



<金本会長主題>

「招かれた者としてふさわしく」

1. 抱負 地道にコツコツと
2. 方針

前年度までの浅羽会長の「一人ひとりが賜物」であるとの主題を受け継ぎ、私共一人ひとりが、ワイズに招かれた者であることを改めて思い起こし、それぞれの賜物を活かし、ワイズメンとしてふさわしく歩めるように、との主題としました。決して派手さは求めませんが、地道に、コツコツと次世代に続くクラブの基礎作りを目指し、卓話を中心として会員間の交流を深めるとともに山手クラブからの発信とします。

また、東日本区の方針に部の活性化が挙げられている中、当クラブからあずさ部長を出しています。部長を支える立場からも部会等をはじめ他クラブの例会等にも積極的に参加しましょう。

具体的には、以下のような活動を実施していきたいと考えています。

ブリテン優秀賞等 受賞

長野での東日本区大会で、山手クラブは理事表彰の部で「ブリテン優秀賞」を受賞しました。

「私の福島・フクシマ」という投稿コーナーを設け、福島というテーマに対する意識啓発に寄与した。—という評価をいただきました。

その他、CS 献金達成賞、ASF 献金達成賞、FF 献金達成賞、EMC-C 部門でノンドロップ賞、BF 銅賞(達成賞)、BF 使用済み切手収集協力賞、TOF 銅賞(達成賞)、RBM 銅賞(達成賞)、YES 銅賞(達成賞)、グランドスラム賞(献金事業全4種で目標達成)、YIA 推進賞ロースター広告協力賞、を受賞しました。

ご協力ありがとうございました。

ワイズに引かれて善光寺 第19回東日本区大会に参加して

直前会長 浅羽俊一郎

6月3日から5日まで長野市で過ごしました。初めての訪問でした。3日は善光寺手前の玄証院の畳敷きの大部屋で役員会と翌朝の代議員会準備と事業主任や部長の発表の予行演習をしました。

そして、4日は区大会初日。山手クラブからは尾内ご夫妻、上妻メン、飯野メンと私の5人が出席。会場「ビッグハット」は1998年の冬季オリンピック競技場。ロビーでは各地から参集した仲間の久しぶりの挨拶と早くも即売店の物品販売とお馴染みの風物詩。午前中の代議員会で新役員の承認の他、ユース会員について今までの会費割引に代わって区大会登録費の減額を来期から実施すること、そして決算報告を早める手続きを導入することが承認されました。この頃別室では台北で開催されるユース・コンボケーションに参加するユース6名のプログラムが進められました。

オープニングセレモニーは長野少年少女合唱団の歌声で幕開け。来賓は加藤久雄市長（副市長が代行）、島田茂日本Y同盟総主事、E. オンアジア地域会長夫妻と遠藤通寛西日本区理事。メモリアル・アワーでは亡き朋友の懐かしい顔に暫し敬意を表しました。区アワー（1）では諸報告の後の長野プレゼンツ「ワイズに引かれて善光寺」では福島貴和住職（長野メン）の司会と解説で天台声明研究会の僧侶達がグレゴリアン聖歌ならぬ声明を唱えましたが、心の落ち着く素晴らしい音色でした。続いて小林玲子・竜太郎親子による善光寺参り絵解きと、深沢武夫指揮する「夢」吹奏楽団の演奏で参加者全員が信州に縁のある歌を歌いました。

晩餐会は場所を変えてホテルメルバルク。朗々たる「木遣り」で開会。前出のユースも晩餐会に合流。福島メンのリードで唱和した仏式の食前の感謝は多くのメンにとって新鮮な体験でした。宴もたけなわ、熊本地震支援募金の呼びかけと同時にユース6人が募金箱を持って会場を回り、集計では23万円余り集まったとのこと。アトラクションはフォーク・デュオと大野勉氏（神戸ポート）の楽しい演奏。解散後ほとんどのメンが2次会、3次会へ。



翌朝の礼拝は丁胤植牧師（長野メン）による司式と説教。イエス・キリストの人柄を思うと十字架は高く掲げられるよりも人と同じ高さが自然と、ステージ上に置き、丁牧師ご自身もステージの手前で話されました。それにしても一つのクラブに牧師と住職がいるのはユニーク。区アワー(2)では事業主任報告、表彰式、引き継ぎ式と次期理事所信表明、役員紹介。今回山手クラブは「私の福島・フクシマ」のコラムを始めたことが評価されてプリテン優秀賞を受賞しました。それにしても伊東クラブの受賞の多かったこと。一人勝ちでした。

長野クラブが今年度の区大会のホストを名乗り出た時、あっぱれと思いつつ、大変だろうな、と心配したのは私だけだったのでしょうか。この若いクラブが大きな区大会を企画運営し、無事に終了させたのです。とても1クラブだけでは出来ないのも甲府、甲府21、富士五湖、松本、信越妙高の5クラブが支援してくれました。でもそれも森本会長はじめクラブメンバー全員の一年に及ぶ熱意と奮闘を見ての協力だったと思います。これぞワイズダム。

余談ですが、エクスカーションの善光寺参りを終えて駅に向かって数人一緒に歩いていると、大通りは大勢の警官（制服・私服）が交通規制中。聞けば天皇・皇后両陛下が植樹の行事で行幸中とのこと。その数分後私たちの見ている前を白バイの先導で黒いセダンが通り過ぎていきました。私たちの側の窓からは手を振られる美智子様のお姿。何とかスマホに納めることが出来ました。

出逢いと体験に溢れた長野市の2泊。そのごく一部を記しました。

福島を想う

金本 伸二郎

震災の前年の夏のこと、三陸海岸を旅しました。気仙沼で息子と舌鼓を打ったふかひれラーメンのおいしかった店が、3.11であつという間に波にのまれたことが、東北に縁者のなかつた私が津波を現実のものとして認識した最初の出来事でした。

しかし、3.11後は福島（フクシマ）イコール原発というわけではありませんが、「原発の恐怖」という人災がもたらされたことは周知の事実です。私の住む人間市では、土地の主産業である狭山茶が放射エネルギーの影響で出荷が停止になりました。また、隣の県の群馬県に孫と遊びに行った折には、屋外の枯草上での遊びを止められたこともありました。勿論、今は埼玉県、群馬県ではこのような心配はありません。

ここにきて、東京電力が「メルトダウン」という言葉を被災直後に使わせないようにしていたことが報道されています。また、だれがそれを言い出したのか不明のまま終わらせようとしています。このような状況を見ると、「福島はもうすでに過去のものとしてしまいたい。」という動きが垣間見られるような気がしてなりません。だからこそ、今、私たちは、耳を澄まして福島から何が聞こえてくるかを聞く必要があると思います。

7月よりワイズメンズクラブの新しい年度が始まりましたが、新年度の山手クラブの方針に、昨年引き続き「福島を忘れない」というテーマを入れさせていただきました。今まで本ブリテンの『私の福島・フクシマ』に皆さんが書いているように、福島を考えることは私どもの生き方を考えることであり、日本の子どもたち日本の将来について考えることに他ならないと思います。

このコラムは小さなスペースではありますが、「フクシマ」を忘れず、ワイズメンズクラブのメンバーの想いを伝えいく大切なものであると考えています。



▼第 693 回東京 YMCA 午餐会

「絵本のはたらき—言葉の大切さについて—」
家庭で耳に聞く言葉、語られる言葉には、意味以上に気持ちや思い、愛情が込められています。それは子ども達が心豊かに成長する上で欠かせないものです。

【卓話者】福音館書店相談役・児童文学者
松居 直(まつい ただし)氏

【と き】7月13日(水) 12:00~13:30

【ところ】東大YMCA 文京区向丘1-20-6

*東京メトロ南北線 東大前駅徒歩0分

【参加費】3,000円 (食事なし1,500円)

【問合せ】賛助会事務局 [TEL:03-3615-5562](tel:03-3615-5562)

7/11まで

▼熊本地震・支援団体 活動報告会 in 新宿

「熊本地震の現場から

～人と地域の力を活かすために～」

NPO/NGOなどの支援団体から報告をするとともに、そこから見えてくる将来の災害への備えを考える機会にもしたいと思います。

【日時】7月18日(月・祝) 14:00-16:00

【場所】東京YMCA山手センター

【参加】無料、要事前予約 定員80名*先着順。下記のページから、お申し込みください

<http://goo.gl/forms/AIVJ7Uqh2cwWc27A2>

【問合せ】「しんじゅく防災フェスタ2016実行委員会」事務局一般社団法人ピースポート災害ボランティアセンターTel: 03-3363-7967

Fax: 03-3362-607

【主な内容】

○熊本地震 支援活動 各団体からの報告

○パネディスカッション「熊本から見た防災・減災の課題」

【報告・登壇者】

勝井裕美 (シャプラニール)

木村万里子 (シャンティ国際ボランティア会緊急救援室)

合田茂広 (ピースポート災害ボランティアセンター理事)

小美野剛 (CWS Japan 事務局長)

横山玄多 (パルシステム生活協同組合連合会)

鶴木由美子 (難民支援協会 定住支援部)

堀内葵 (国際協力NGOセンター事務局長)

松本竹弘 (東京YMCA山手コミュニティセンター)

山根一毅 (日本YMCA同盟協力部門国際担当)

(松本竹弘)

おたより (6月)

<青鹿博明さん> 新年度を迎えて、自分には何が出来るのかと考えながら日々が進んでしまうのが……。どうしよう！何をしよう！

<上妻英夫さん> 「戸隠社初夏日も入れぬ杉巨木」。長野 Ys 大会後、戸隠中社、奥社と廻った。その奥社参道両側、樹齢約 400 年の杉巨木が見事に天高く生い茂っている。幹も 2 本、3 本と分れているのに自然の強さを思わせる。

<浅羽俊一郎さん> 会長職を解かれ、ホッとする間もなく、あずさ部部长ということになりました。金本会長、一緒に頑張りましょう。

<飯野毅与志さん> 今年度最後の例会、良い例会になるよう祈っています。新しい会長さんに神様の恵みが豊かにありますように祈っています。新しい企画もある山手クラブになることも期待しています。

<鈴木田通夫さん・祐子さん> このたびの熊本地震で熊本 YMCA を先頭にいち早く全国の YMCA の職員が率先して重要な立場、任務、お仕事をされたことは、とても素晴らしく、深く感謝いたします。東西 Ys も動き出していることも嬉しいです。一日も早い復興を祈ります。

.....

編集後記

○ 新しいワイズ年度がスタートしました。「地道にコツコツ」と「急がず、しかし休まず」(ゲーテ) に、新しい山手ワイズを作ってまいりましょう。

○ 山手のブリテンは昨年度から東日本区のウェブサイトに掲載していただくようになり、おかげでブリテンの印刷費や郵送費が大幅に削減できました。そして、カラフルさの乏しい地味なブリテンではありましたが、「福島・フクシマ」の連載企画で思いがけずブリテン優秀賞をいただくことができました。浅羽前会長のリーダーシップと山手メンバーのご協力のおかげです。

○ 今年度は浅羽あずさ部長を支えるクラブとしての責任もあります。お互い、健康に留意しつつ、元気に歩んでまいりましょう。(F. K)